

しまいろ

SHIMAIRO

No. **2**
2019 spring

小豆島の
高校生たちがつくる
小豆島のための
フリーペーパー

SHOW DO SHIMA



〈特集〉あずきベーカリー・カフェめぐり・尾崎放哉・救急ヘリ・学校統廃合・しまのみらいプロジェクト



約二年前にオープンされた「あずきベーカリー」。おいしそうなパンの香りが人を惹きつける。今回、お店を営むご夫婦にインタビューをさせていただいた。



おいしいパン、いかがですか？

取材・文・写真／横山 健也・横山 紗映莉

「ご夫婦で小豆島に移住され、二年ほど前にお店を開店されたと伺っていますが、小豆島でお店をしようと思われたきっかけを教えてください。」

奥様 旦那が三十年ほど神奈川のほうでパン屋で働くサラリーマンをしていて、独立する流れになったので場所を探して。元々は、旦那の地元である高松で場所を探したんですけど、中々良い場所がなくて、四国周辺で探したときに、小豆島の気候や風景に好感を持ちました。一度来てみたら、島の人たちが優しく、食べ物も美味しくて大好きになりました。

「実際に移住してみようでしたか。」
奥様 島って広いですよ。でも、どこかで誰かがつなごうって。それを実感できたのが開店初日だったんです。お店を始めることを全く広告とかにしていなかったのに、初日に行列になって。それにすごく驚きましたね。どんなコミュニティなんだろうって。

「僕もあずきベーカリーさんの事を友人に教えてもらって、実際にパンを食べたときはすごく美味しくて感動しました。」
パンを作る上でのこだわりとかって何かありますか？

店主 できるだけクリームとかあんことか、いわゆるフィリング（中身）は全て手作りしています。島なので配達が少ないので一度の量がなくなってしまうって、それを保存しておく場所もないので、あんこやチョコクリーム、カスタードクリームはもちろん、ミルクフロランスのクリームとかは全部手作りです。あと、小豆島のものでできるだけ取り入れるようにしていますね。塩とか醤油とか。

「焼き上げる際に気をつけている事

は何ですか。」

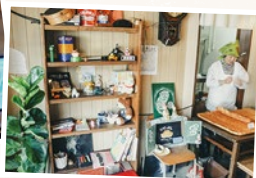
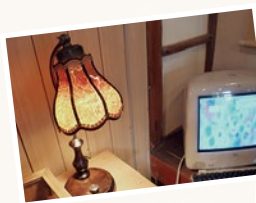
店主 よく発酵させてよく焼き込むことを基本に、じつくりと焼き込むようにしています。そうしないと食べた時にベチャっとしちゃうんですね。だからよく焼き込んで水分が飛んでいくとフワフワした食感になります。

「なるほど。では、最後にお店をしていて嬉しいことを教えてください。」

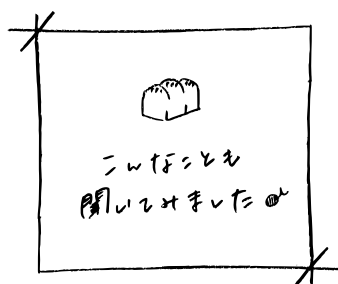
奥様 やっぱ美味しかったって来たってもらえることですね。

店主 日常使いのお店になっているので。

奥様 うん。普段の生活にウチのパンが取り入れてもらえているっていうのが嬉しいんです。時々、小学生の子とかが友達同士で来てくれたりとか、メロンパンだけ一個買いに来てくれたりとか嬉しいですね。島の人みんなあんなかくて本当に来てよかったです。



「古いものを大事にしつつも新しいものを
つなげていく・つくりあげていくっていうのが
自分たちのコンセプトです。」



Q. 人気商品は？

A. パン・ド・ミですね。山型の食パン
あと、ミルクフロランスってソフトなフランス
パンにミルククリームがはさんであるもの
ですね。
あんぱんも人気ですよ。ちほかに...昔あんなに

Q. 店内にたくさんあるインテリアたちは奥様のご趣味ですか？

A. はい。
元々神奈川にいたときに趣味で集めてたんです。この建物が元は酒屋さんだったので、棚が多くてそこでここに飾ったらいいなと思って置いています。



小豆島 カフェめぐり

近年、島内には様々なおしゃれカフェが急増しています。
そのなかでも編集部おすすめ！今 HOT なカフェの看板メニューを
リサーチしてきました。

取材・文・写真 / [小豆島町カフェ] 吉田 由佳里・岡本 早紀子・本多 菜々子 / [土庄町カフェ] 村上 花梨・岡田 真奈・多田 裕紀



[小豆島町]

La mauve

カフェ ラ・モーヴ

オリーブ公園の下にあるカフェ。目の前にはオリーブ畑が広がります。穏やかな雰囲気店内にはオリーブ染め工房「木の花」が併設されており、オシャレな手作り雑貨も購入できます♪無添加で心のこもった本格的なかわいいタルト、小豆島野菜たっぷりプレートなど、店主さんこだわりのおいしい手料理がいただけます。

ホッと一息つきたい時にも！アットホームなお店です。

Place: 小豆島町西村甲1843-2
Time: 11:00 - 17:00
Close: 火曜日 / 第1・第3水曜日
① olive.konohana
f konohana.olive



[小豆島町]

MINORI GELATO

ミノリ ジェラート

築70年の米蔵を再利用して作り、町にとけこむ隠れ家的なジェラート屋さん。こだわりは小豆島産のものを使うこと。また素材の持ち味、食感を活かすよう大切に作られています。種類が豊富でその季節の旬の味も登場！カラフルで見た目もかわいく、お口も心も満たされます！

店員さんも温かく笑顔あふれる空間で本格ジェラートはいかがですか？

港の近くでアクセスも◎



Place: 小豆島町草壁本町 1055-2
Time: 10:00 - 19:00
Close: 木曜日 / 第1・第3水曜日
Web: minorigelato.com



しまいろ

[小豆島町]

MORIKUNI BAKERY

森國ベーカリー

路地裏にあるオシャレなパン屋さん。

外装にも内装にもこだわり、あたたかみあふれる空間でたくさんの種類のパンをいただけます。1番の特徴は甘酒と米粉を使用したパンであること!甘酒を使ったパンなんて珍しい。季節のものやご飯にあう食材を使った職人さんのアイデア&こだわりあふれるメニュー。ちなみに島民のみなさんに人気なのはあげパンです。ぜひ食べてみてください!



甘焦がし醤油あげパン



Place: 小豆島町馬木甲1010-1
Time: 9:00-17:00
Close: 木曜日 /
第2・第4・第5水曜日



[小豆島町]

TODAY IS THE DAY

トゥデイ イズ ザ デイ

目の前に海が広がり店内にはゆったりとした時間が流れる`TODAY IS THE DAY`。黒板のようなメニュー表に雑誌がたくさん並べられて、とてもおしゃれな内装も魅力のひとつ。おすすめは神奈川から移住してきたお兄さんの自家焙煎コーヒー。豆にこだわりから入れてくれます!コーヒー好きの人はぜひご賞味あれ!その他に10種類以上のこだわりドリンクも!食事は甘いシロップと相性抜群のフワフワパンケーキや森國ベーカリーの酵母パンと無添加ソーセージを使用したホットドッグなどもあります。こだわりあふれるメニューが満載!!

海を眺めながらホッとひと息つきませんか?

Place: 小豆島町西村甲2019-2
Time: 水~金曜日 13:00-19:00
土曜日 11:00-19:00
日曜日 11:00-17:00
Close: 月曜日・金曜日
todayistheday_shodoshima



パンケーキ・ブラジルコーヒー

ホットドッグ



[土庄町 or 小豆島町]

あずきカフェ

Azuki Cafe

可愛いお姉さんとイケメンお兄さんの2人で経営している移動販売のクレープ屋さん。生地はもちもちになるように、生クリームは甘すぎないように、小腹が満たされる大きさでとてもこだわって作っています。おすすめは小豆島の名産を使った「オリブグレースクレープ」と「醤油クレープ」小豆島のクレープ屋さんでしか食べることのできないメニュー。

他にも期間限定クレープが登場!!このクレープは季節感あふれるアイデア満載のクレープ。毎回こだわりを感じられます!クレープができるのを待っている間、お姉さんとの会話も楽しめます♡1度食べたならピーターになること間違いなし!



Place: Instagramにて情報を
Time: Check!
azukicafe_shodoshima



しょうゆクレープ



いちごクレープ



〔土庄町〕

LIFE IS BEAUTIFUL

ライフ イズ ビューティフル

北海道から移住してきた店主さんが営む、ソフトクリームがおいしいと有名なカフェ。店内には、島の行事や風景の写りが飾られていたり、牛やオリーブの絵が描かれていたりして小豆島をたくさん感じることができる。

小豆島の方々にも、北海道のおいしいものを味わってもらいたいという思いからこのお店をはじめられたそう。人気メニューはやっぱり季節のフルーツがたくさん乗ったミルクソフト！2〜6月はイチゴの時期なので人気が高い。ソフトクリーム以外にも、チキンやコーヒーなどのドリンクもあるのでそれもおすすめ。冬にでも食べたくなるライフイズビューティフルのソフトクリーム。今すぐ食べに行こう!!



Place: 土庄町測崎甲 1386-8

Time: 11:00 - 17:00

Close: 無し

📍 popeye_libe_lastone



北海道産ミルクを使用したクリーム



{ News } 3月〜ポパイと合体!



こだわりのバーガーとコーヒー



〔土庄町〕

Blue Beat Bland cafe

ブルー ビート ブランド カフェ

島の人がよく使うスーパーの前にあるおしゃれなカフェ。店の中に入ると、コーヒーの香りと優しい店長さんが迎えてくれる。「東京の飲食店で働いていたが、地元に戻ってきてずっとやりたかったカフェをオープンした。小豆島で、他にないものを提供したい」と話してくださった。

食べ物の人気メニューは、オリーブ牛 100%を使ったこだわりのハンバーガー。飲み物はキャラメルラテやフラペチーノなどが人気で、店長さんの淹れるハンドドリップもおすすめ。

買い物の帰りにちょっとひとときどうですか?

Place: 土庄町甲 1360-77

(マルナカ前)

Time: 10:30 - 19:00

(L.O. 18:30)

Close: 木曜日

📍 bluebeatbland



〔土庄町・豊島〕

いちご家

Ichigo-ya

いちご家では、自家農園で作ったいちごのスイーツを販売しています。特に冬から春にかけては、とれたてのいちごを使用しています。いちご家のいちごは半端ない!

一度食べたらずっと欲しくなるおいしさです。

そのいちごを贅沢に使ったスイーツはどれを食べても最高です!

豊島のアートを巡りちょっと疲れたら迷わずいちご家へ GO!!

心もお腹も満たされる。豊島にお越しの際はぜひいちご家に立ち寄ってください。



〔冬・春〕生いちごいっぱいパフェ



〔冬・春〕生いちごいっぱいラレーフ



〔年中〕いちごミルク



Place: 土庄町豊島家浦 2133-2

Time: 平日 12:00 - 17:00

土日祝日 11:00 - 17:00

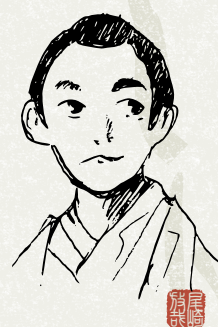
Close: 〔夏期〕火曜日

〔冬期〕火・水・木曜日

📍 tadanouen158

しまいろ

ようこそ、尾崎放哉の世界へ



取材・文 秋田 麻琴
カメラ・イラスト 綿谷 美和

尾崎放哉と聞いてピンとくる小豆島の島民が、いったい何人いるのでしょうか。『咳をしても一人』くらいなら知ってるけど……という人、そもそもその一句も知らない、「ホウサイツて誰？」な人もいるのでは？「小説『二十四の瞳』を書いた壺井栄は誰もが知っているのに、皆、放哉の句のことは何も知らない！島民として恥ずかしい！」と焦った私は、迷路のまちの奥にひっそりと佇む南郷庵（尾崎放哉記念館）へ取材に行きました。

今回は、放哉の句の中から独断で選んだ傑作を紹介しつつ、放哉の人生を追っていきます。

『咳をしても一人』―病床での孤独

国語の教科書に載るほど有名なこの一句。しかし、この句を通じて放哉が何を言いたかったのか、それは彼の人生を追わずして計り知れるものではないでしょう。

東京大学卒業後、保険会社に勤めていた超エリート
の放哉。結婚を前提にお付き合いをしていた女性もおり、全てが上手くいっていた彼に、ある時転機が訪れます。恋人の家族に結婚を反対され、彼女と離別してしまうのです。それがきっかけで、放哉は酒に溺れるようになります。人付き合いが悪いくなり、仕事も辞め、一人ぼっちになってしまった彼は、大好きな俳句だけ詠んでこれらを生き延びていくことを決意します。肺を患っていた彼に、良い句が詠めそうな療養の地として勧められたのが、この小豆島でした。

西光寺の近くにある南郷庵に入った放哉は、人付き合いの悪さゆえ、島でも孤独な療養生活を送っていたようです。放哉が小豆島で詠んだ句は、百句に及びます。その中で最も短く簡潔な『咳をしても一人』。肺病と闘う自分をすぐ傍で診てくれる

人がいない寂しさが率直に詠まれたこの句から、放哉の孤独が手に取るように分かります。

『渚白い足出し』―島海と放哉

この句も小豆島で詠まれたものです。最初この句を読んだとき、私は「この『白い足』が恋人や奥さんのことだったら素敵だな」と思っていました。が、どうやら違うようです。

前述した通り恋人とは離れた放哉はその後別の女性と結婚しましたが、単身小豆島へ渡る際にその人とも離ればなれになりました。

海が好きだった放哉は、あのエンジェルロードの辺りにもよく行っていたそうです。青い海に白く伸びる道を歩く足……。その足は、さて、いったい誰のものだったのでしょうか？（放哉本人のものだと思うと苦笑いせずにはいられません。）

孤独な句や暗い句ばかり詠むイメージがある尾崎放哉ですが、このように島の風景を素朴に描いた句も多く遺されています。

『犬よぎれるほど尾をふつてくれる』―寂しい心を埋めたもの

放哉の句で直感的に「これ好きやわ」と思ったのがこの句です。なんだか、癒されませんか？ワンちゃんが楽しい気持ちを使えば、いかにこちらに向けている光景が浮かんできそうですね。放哉は他にも『ねそべて書いて居る手紙を鶏に覗かせる』などの動物が登場する句を多く遺しています。小豆島に来てからは動物を飼っていたことはないそうです。

『犬よ』の句に登場する犬は野良犬でしょうか。「ふつてくれる」という表現から、放哉が犬を愛らしく思う気持ちも読み取ることができると思います。放哉の寂しい気持ちをなぐさめていたもののひとつが、動物たちだったのかもしれないね。

『入れものが無い両手で受ける』―溢れるほどの〇〇

最後に紹介しておきたいのは『咳をしても一人』と並ぶ有名なこの句。記念館の庭に建っている石碑にもこの句が刻まれています。はて、彼はいったい何を「両手で受け」たのでしょうか？

中学時代、放哉はある人物に出会います。無季自由律俳句の祖・萩原井泉水です。彼の影響で、放哉は自由律俳句を作り始めます。放哉の小豆島行きを勧めくれたのも井泉水でした。二人は放哉が亡くなるまで手紙でやり取りしていました。放哉は「四カ月ぶりに風呂に入って初めて自分がこんなに痩せていたことに気づいた」などと、信頼を寄せていた井泉水に自分の生活ぶりを赤裸々に告白しています。井泉水は手紙のやり取りのほかにも放哉へのサポートを行っていたようです。

俳句を詠むだけでは人は食べていくことなどできません。そこで放哉は、庵の近くにある西光寺の住職にご飯を食べさせてもらっていたといえます。井泉水と住職のほかにも、多くの人……とは言い難いですが、ほかの俳人や島民に支えられ、放哉は小豆島で俳句を詠み続けました。人付き合いの悪い放哉ですが、自分に優しくしてくれた人には自分も優しくしたいと思う人だったそうです。（取材に応じて下さった九富さんは「赤ちゃんみたいな人だよ」とおっしゃっていました笑。）

支えてくれた人の溢れんばかりの優しさと、その優しさに対する「ありがとう」の気持ちを、両手で受けたのでしょうか……。なんだか温かい気持ちになる句です。



おいでよ！ 尾崎放哉記念館へ

小説『二十四の瞳』を書いた壺井栄とは違い、映像化できない俳句、しかも無季自由律を好んだ尾崎放哉が、壺井栄というビッグネームで隠れてしまっても無理はありません。特に放哉の句は、何を言いたいのかさっぱり分らないものも多いです。しかし、今回の取材で放哉の人物像を浮き彫りにしたことで、放哉の句の新たな一面が見えてきました。

今回取材に応じて下さった、尾崎放哉記念館係の九富さんは、「俳句というものは詠んだ人の人柄を知るほどに深みが出る人もいない人も、是非記念館へ来て資料を見てください！」とおっしゃっていました。放哉の暮らしていた南郷庵で、尾崎放哉の句を味わってみませんか？

（土庄町立図書館の隣には尾崎放哉資料館もありますのであわせてお楽しみください。）



命と想いを繋ぐ

ヘリコプター

小豆島の空に飛んでいる姿を一度は見たことがあるはずです。
“ヘリコプター”を。患者さんの命を救うための大切な手段。
そして島という場所に住んでいる私たちには必要不可欠な存在。
そんなヘリをのぞいてみよう！

小豆島の空に飛んでいるのは“防災ヘリ”

皆さんは知っていますか？ヘリコプターにはドクターヘリと防災ヘリの二種類があることを！私達が目にはしているのは防災ヘリと呼ばれるもののほうです。一番の大きな違いはヘリに医師が乗っているかどうかです。ドラマでもおなじみのドクターヘリは要請があると医師がヘリに乗って要請があったところまで向かいます。一方で防災ヘリは送迎目的のため、要請があれば要請した医師が乗ることになります。小豆島の場合は中央病院の医師が患者と一緒に乗り込みます。その間、病院には医師が一人不在となります。またドクターヘリは緊急搬送専用のヘリなので処置などを施す設備が整えられており、要請があつてから5分以内で飛ぶことが可能です。防災ヘリというのはあらゆる用途で用いられるため処置を施すための設備は搭載されていません。そのため要請があつてから必要な道具を準備し運び込む必要があり、飛ぶまでに15〜20分の時間を要します。

こんなにも大きく違うヘリコプター。いつか防災ヘリを利用しなければいけない時が来るかもしれません。その時のためにも違いを知っておくことは大切なことです。

将来的には香川にもドクターヘリを導入したい！

2つのヘリを比べたときに、利点が多いのはやはりドクターヘリです。ドクターヘリを導入することであらゆる可能性が広がります。例えば小豆島近隣の島にも利用可能になるといことです。医師はすでに乗っているのに医師が少ない小さな離島であってもヘリでの緊急搬送という選択肢ができます。船でしていた搬送をヘリでできるということはその島において大きな利点になるでしょう。また災害における被害においても活躍することは間違いありません。より多くの命を救える力を持っています。

このようにたくさん可能性を秘めたドクターヘリ“ぜひ導入してほしいですね。”

島内治療が難しい症例

- ・心疾患（心筋梗塞・重傷不整脈）
- ・脳疾患（頭蓋内出血・脳梗塞）
- ・脊椎損傷
- ・骨盤骨折（不安定型）
- ・広範熱症
- ・多発外傷
- ・クラッシュ症候群



香川県の防災ヘリの利用、なんと9割が小豆島!!!



小豆島中央病院 石井 泰則先生

夢に向かって頑張る学生に一言！

私たちがやるんだという気持ちをもって組織をうごかせられるような、そんな人になってほしいですね。過去の考え方やり方にとらわれるのではなく、自分がいいと思ったこと、新しいことをどんどん取り入れられる広い視野と柔軟な頭を大切にしてください。ぜひ小豆島に帰ってきて小豆島で皆さんの力を発揮してください！

知ってるっ

学校の統廃合について

2004年度の
学校の数

19校

(小中高合わせて)



2018年度の
学校の数

9校

(小中高合わせて)



なぜ統合するのだろう？



少子化に伴って児童数が減少する中、子どもたちにとって一番よい教育環境は何かと考えたときに、同学年で交流が行える一定の児童数と大きな地震に耐えられる校舎、この2つを実現するためには、統合して新築の校舎を建築することが一番よいと考えたからです。

(土庄町教育委員会)

児童数や生徒数が減少すると部活動を選べなくなったり、クラス替えができなくなるなど、子どもたちにとっての選択肢や交流が少なくなりますが、児童数等が増加したり、校舎が新しくなれば、多くの子どもたちとコミュニケーションをとったり、快適な環境の中で勉強することもできます。

(小豆島町教育委員会)



聞かせてください！みんなの声

いろんな世代の方々に学校の統廃合についてインタビューしてきました。

Q. 質問内容

① 統合して良かったことは？ ② 統廃合して困った、苦労した不便なことは？



高校生

①

学校がきれいになった。
部室が使いやすくなった。

②

家から遠くなった。

①

人が増えていろいろな
人と出会えた。
選べる部活が増えた。

②

統合していくと島内で進
学する時、入学以前からの
知り合いが多く、たく
さんの初対面の人と出
会う機会が減ること。



高校生



中学生

①

小中併設校になったの
で、小学生と交流する
機会が増えた。
環境が変わらないので、
安心して入学できた。

②

時間割りが違うので、
お互いに気を使う。
テストのときに、小学
生がにぎやかで集中で
きないことがある。

①

小学校の先生とも交流を
もてる。
小・中学校の教員が乗
り入れて授業ができる。
自分の目で子ども達の良
いところを見つけられる。

②

小学生と中学生の距離
が近いので、中学生に
なる実感が湧きにくい。
お互いに気を使って生
活する場面が増えた。



先生



保護者

①

先生の数が増えたこと
で生徒一人一人を見
てもらいやすくなった
こと。

②

遠くなって通学時に
お金がかかること。

①

町を越えて孫世代の
活動の情報を知れる
ようになったこと。

②

廃合になることで近所
の学校から聞こえてい
た子どもたちの声が聞
こえなくなってさみし
いこと。



祖父
母
世代

これからの小豆島について

声を聞いてのまとめ

学校が統廃合したことで、通学時間が長くなった、近所の学校から聞こえる子どもの声がなくなりさみしくなったという声があった。しかし、統合し新しい環境になって良くなったという声も多く聞くことができた。

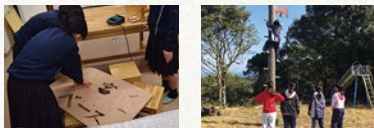
自分たちの考え

今回、学校の統廃合について調べてみて、校舎の老朽化や少子化が原因であることを学びました。小豆島の過疎化、少子化の進行を止めない限り、学校の統廃合は今後も進んでいくと考えます。

秘密基地

私たちは、土庄の滝宮で活動しています。秘密基地の名前は「滝宮ベース」、グループ名は「Enjoy Ventures」です。今までに看板作り、ガーランド作りをしました。これからは、遊具・小屋作りをしていきます。

私たちには、年齢関係なく敬語は使わないというおもしろいルールがあります。みんな明るく楽しいチームなので男女関係なくぜひ参加してみてください。



オリジナル商品

私たちは今、島の企業さんと連携して缶ミラー、缶バッジ、トートバッグの製作を行っています。

メンバー内で役割を分担し、デザインを考えたり色を選んだりしています。

自分たちで企画した商品が販売されるのが楽しみです。

NEWS

第28回

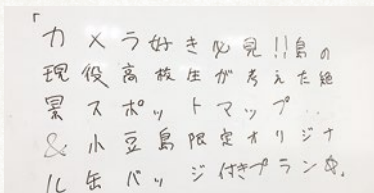
しょうどしまフレトピアフェアに出店予定！商品を販売します！

○ 2019.3/17(日) ○ 9:00～14:00
○ オリーブタウン前



旅行商品企画

近年小豆島を訪れる観光客が増えています。観光に来てくださった人への情報提供、思い出の品となるものをプレゼントということで、手作りマップを製作しました。小豆島に住んでいるからこそ分かるおすすめの場所、最適な移動法などを話し合い、心を込めて手作りしました。観光地に住んでいる私たちだからできる島高生ならではの活動です。



プロジェクトの目的とは？

このプロジェクトは、社会に出た時に役に立つ力

(自ら考え、他人を巻き込みながら行動し、形にする)を身につける場とするものです。

島の良さや働く人たち・仕事をよく知り、小豆島を思う気持ちを高め、進学または就職後に U ターンを考えるきっかけになってほしいと考えています。

project

しまの みらい プロ ジェ クト

現在しまみらいでは、本誌「しまいろ」の制作とあわせて、4つの企画が進行されています。今年度の各企画の進行状況をご紹介します。



これからの100年もオリーブとともに

株式会社オリーブ園

企業紹介

もっとオリーブの良さを体感してほしい、オリーブを愛する人がひとりでも増えてほしい。1973年、その使命を体现するために「観光農園」として小豆島オリーブ園がスタート。現在では、樹齢100年のオリーブの原木の森や、イサム・ノグチの遊具彫刻など、五感を使って楽しめる施設に。これからの100年もオリーブとともに歩んでいきます。

高校生へのメッセージ

皆さんが当たり前のように過ごしている風光明媚な小豆島の環境が、どれほど恵まれているかということ島外から戻ってくると実感します。もちろん不便なこともあります。故郷小豆島を誇りにして下さい。

お問い合わせ先

0879-82-4260



オリーブと共に生きる。

小豆島ヘルシーランド株式会社

企業紹介

「心と体の健康を追求して小豆島の発展に寄与する」ことを社是に1985年10月19日に創業。オリーブ健康科学研究所で研究を重ね、栽培、化粧品・食品製造、通信販売により日本全国のお客様に健康と美をお届けしています。迷路のまちの古民家を再生し、妖怪アートミュージアム MeiPAM として歓(観)光開発することにより歓(観)光客を増やし地域の発展に寄与しています。

高校生へのメッセージ

夢ややりたいことはありますか。世の中に情報はあふれています。未来を変えるのはやるかやらないかだけです。リスクをとる覚悟があれば未来は必ず拓けます。覚悟をもって進む人を私たちは全力で応援します。

お問い合わせ先

0879-62-7111



LIVE WITH OLIVE
オリーブの森
SHODOSHIMA



小豆島が世界に誇る景勝地 日本三大渓谷美

小豆島総合開発株式会社

企業紹介

寒霞渓はおおよそ1300万年前の火山活動によってできた安山岩、集塊岩などの岩石が長い年月の地殻変動や侵食により、そそりたつ奇岩怪石の絶景をつくりあげた瀬戸内海国立公園。変化にとんだ渓谷は、日本三大渓谷美のひとつとして称され小豆島が誇る景勝地となっている。日本で唯一、『空・海・渓谷』を一度に眺望できる島のロープウェイを運営するのが、小豆島総合開発株式会社。「今後はトレッキングにも力を入れていきたい」と佐伯社長は話す。

高校生へのメッセージ

これからは場所ではなく個人の時代。何のために生きていくのか？これから人口が減り職種も変わる中で、君たちの世代は親の世代より必ず苦労します。物事は変わっていくけれど、本質は変わらない。どうか負担に思わないで、学んだことを活かして無から有を生み出し、新しいルールの社会を創って助け合って生きてください。



〔採用情報〕

寒霞渓に秋に来た老夫婦が、春に「また一緒に来られました」と戻ってきます。私たちが思い出のきっかけになれば嬉しいです。観光とは満足と安全。色んな人と接するから面白い。「自分はと思う？何を感じる？」を大切に、国立公園第一号の名に恥じぬよう、一緒に頑張ってくれる仲間を募集します。チャレンジしてやってみませんか？お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

0879-82-2151

神戸～高松・小豆島を結ぶ快適な海の旅

ジャンボフェリー株式会社

企業紹介

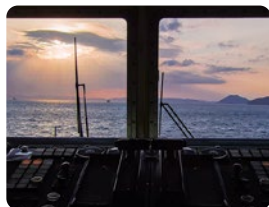
ジャンボフェリー株式会社は神戸～小豆島～高松を結ぶ、海運会社です。昨年には航路開設して140周年を迎えました。

小豆島へは平成23年7月より就航し、『小豆島ジャンボフェリー』の愛称で、今年の7月に就航7年を迎えます。関西と香川県を様々な『人・物・想い』をフェリーで運び『旅客事業・物流事業』を通して社会貢献を果たし、地域の皆様にとってより大切な交通インフラを目指しています。

高校生へのメッセージ

小豆島中央高校の皆様へ

私達『小豆島ジャンボフェリー』は小豆島坂手港に就航してもうすぐ7年を迎えます。小豆島中央高校の生徒の皆様が、小学生の時に就航いたしました。港では様々な人の『希望や出会い・別れ』をお見掛けする場面が沢山あります。その度に大切な時間をそのままに送り届けるフェリーであり続けていきたいと思ひます。



[採用情報]

- 営業所: 神戸支店、高松支店
 - 従業員数: 80人
 - 事業内容について(一例)
 - ・ 旅客営業(国内旅客・インバウンド旅客・商品企画)
旅行代理店等への営業やツアー企画・イベント企画を行います。
 - ・ 物流営業(国際物流・国内物流・内航貨物・国内外輸送手配)
国内外の物流会社との貨物営業や輸出入貨物の手配業務を行います。
 - ・ 業務部門(予約管理・入出港業務・チケット販売・電話受付)
乗船されるお客様の電話応対・チケット販売等の接客業務を行います。
- ジャンボフェリーはエネルギーを持った人材を募集しています。

お問い合わせ先

078-327-3111

小豆島の思い出づくりをサポート

一般財団法人 小豆島ふるさと村

企業紹介

小豆島ふるさと村は滞在型、体験型の観光施設でもあり、小豆島におけるイベント等の発信基地です。島外からの観光客にシーカヤックなど様々な体験教室や体育施設、ファミリープール等で思い出づくりをサポートしています。宿泊施設は、「日本夕陽百選」に認定された絶景の夕陽が自慢の『国民宿舎小豆島』、『ふるさと荘』の宿泊施設とオートキャンプ場もあり、滞在しながら体験、観光を楽しめるレクリエーション施設です。

高校生へのメッセージ

皆さん、生まれ育った小豆島、素晴らしい家族と地域の皆さんに囲まれて生活できていることほど幸せなことはありません。夢の実現を目指してベストを尽くしてほしいと思ひます。未来は可能性に満ちています。育ててくれた小豆島、地域社会に感謝の気持ちを携えて前向きに明るく頑張って下さい。又、皆さんがこれから小豆島の応援団になってもっともっと元気な島になるように応援して下さい。



[採用情報]

小豆島ふるさと村は、宿泊、調理、施設管理、接客、体験等の数種の職場がありますが、小豆島の良さを島外に発信する会社でもあります。各部門の先輩が仕事のイロハをやさしく教えます。宿泊業、接客業に加え小豆島の自然を生かした海、山、農業体験に興味がある方を募集しています。

お問い合わせ先

0879-75-2266

✎ 秋田 麻琴	影の薄い尾崎放哉を何卒よろしくお願いします。	✎ 本多 菜子	3ホ取りに取材と初めてのセバツイにやいて楽しかったです。
✎ 岡田 真奈	前回より107-ア、70-242の活動も楽しかったぞ！	📷 村上 花梨	みんながたまなカフェの取材ができたのでも満足。
✎ 岡本 早紀子	自分たちで作上げたものが多くの方に読んでもらえるという貴重な体験ができた。	📷 山口 奈実	自分たちのデザインから商品を生み出すという経験ができてとても嬉しく思います。
✎ 岡本 奈那子	小豆島にはたくさんの魅力があり、ますます好きになった。	✎ 横山 紗映莉	島を離れる前に、たくさんの島の魅力がわかることができて良かったです!! 感謝!!
✎ 多田 裕紀	しまいろを読んで、皆さんに小豆島をもっと好きになってほしい!	✎ 横山 健也	新しい価値感・考えに触れることができた。
📖 震 夏瑞奈	2年間お世話になりました。107-アの出会いに感謝。	📷 吉田 由佳里	小豆島に対する様々な思いを知り、とても良い経験になった。
✎ 飛多 麻里	自分たちで考えた企画ページを作るのは大変だったがおもしろかったです。	📷 綿谷 美和	取材を通して島の新たな魅力を知ることができました!

Special event

海の復権

瀬戸内国際芸術祭 2019

テーマ

「島のおじいさんおばさんの笑顔を見たい。」—そのためには、人が訪れる“観光”が島の人々の“感幸”でなければならず、この芸術祭が島の将来の展望に繋がってほしい。このことが、当初から掲げてきた目的=『海の復権』です。美しい自然と人間が交錯し交響してきた瀬戸内の島々に活力を取り戻し、瀬戸内海が地球上のすべての地域の『希望の海』となることを目指し、瀬戸内国際芸術祭を開催しています。

会期

春会期(ふれあう春) | 2019年4月26日(金) - 5月26日(日)

夏会期(あつまる夏) | 2019年7月19日(金) - 8月25日(日)

秋会期(ひろがる秋) | 2019年9月28日(土) - 11月4日(月)

会場

直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島(春)、本島(秋)、高見島(秋)、栗島(秋)、伊吹島(秋)、高松港周辺、宇野港周辺

小豆島でも多くの作品が展開

瀬戸内国際芸術祭 2016 で好評だった、ワン・ウェンチー(王文志)さんやリン・シュンロン(林舜龍)さんのほか、たくさんのアーティストが小豆島で作品を制作します。よく知っている場所に作品が置かれると、また違う風景になります。どんな作品が完成するのか、楽しみにしててくださいね。



ワン・ウェンチー(王文志)
「オリーブの夢」(2016)
Photo: Yasushi Ichikawa



リン・シュンロン(林舜龍)
「国境を越えて・潮」(2016)
Photo: Yasushi Ichikawa

